



木曽川下流自然観察会

<http://owari.eco.coocan.jp/kisogawa.html>

日時 2021年7月11日(日) 9:30~12:00 (曇り/晴)

参加者 一般:2名

指導員:4名

テーマ どんな虫が見られるかな

梅雨時の晴れ間を期待して、今日のテーマは「虫」です。

芝生の上をウスバキトンボの群が舞っていました。この辺りへは6月中頃に渡ってきますが、わずかな期間で急速に数が増加しました。大野極楽寺公園の池ではクロスジギンヤンマ、シヨウジョウトンボ、チョウトンボ、コシアキトンボなどが飛んでおり、138タワーパークでは赤く色づき始めたリスアカネも見られました。ただ、イトトンボ類は出現しませんでした。

林に設置されたペットボトル製の蜂トラップには、匂いにひかれて来たコムラサキが止まっていました。河原に幼虫の食草となるヤナギ類が多いので、そこで発生したものでしょうが、それ程頻繁に見られるものではありません。途中で会った人が、この辺りには時にクロコムラサキ(コムラサキの黒色型:劣勢遺伝型)が出ると教えてくれました。

セミは車で来る途中にクマゼミの声を聞きましたが、ここではまだニイニイゼミの鳴き声だけでした。

コナラ林にはきれいな模様のカメムシの幼体と卵の抜け殻が葉の裏についていました。大型の外来種で近年数が増えているキマダラカメムシということでしたが、一齢幼虫を見たのは初めてです。

植物では新しい外来種が出現しました。ウツボグサに似ていますが、花が小さく、莖も分岐してちょっと雰囲気異なり、外来種だろうということで、帰って調べたらセイヨウウツボグサと分かりました。

終わりがけに参加者が細い草の葉にびっしりついた奇妙なものを見つけました。1つの大きさは1mm程度のもので、虫の卵、粘菌などいろいろな候補が出ましたが、その場では分かりませんでした。帰って、メーリングリストに写真を投稿して尋ねたところ、変形菌(粘菌)のジクホコリの子実体と分かりました。変形体が移動するところを見てみたいものです。(報告:齋竹)

<その他観察できたもの>

虫: シオカラトンボ、オオシオカラトンボ、モンシロチョウ、モンキチョウ、キタキチョウ、ナミアゲハ、ナガサキアゲハ、ツバメシジミ、ツマグロヒョウモン、ヒメジャノメ、ヒメウラナミジャノメ、ゴマダラチョウ、カブトムシ、ホソヘリカメムシ、アオバハゴロモ、ヨツボシホソバ(幼虫)、キリギリス(声)

鳥: トビ、ツバメ、キジバト、ヒヨドリ、コゲラ、シジュウカラ、エナガ、メジロ、カワセミ、アオサギ、スズメ、ムクドリ、ハシブトガラス、ウグイス(声)

花: ヤブカンゾウ、ミソハギ、ユウゲショウ、ノアザミ、ヒメジョオン、ヒメクマツツラ、メリケンムグラ、ツユクサ、ネジバナ、セイヨウニンジンボク



(捕まえたコムラサキを観察)



シヨウジョウトンボ



キマダラカメムシ幼虫と卵殻



初出現 セイヨウウツボグサ



変形菌のジクホコリの子実体